

2023 年度日本海洋学会第 3 回幹事会議事録

日時: 2023 年 9 月 13 日 (水) 13:30~17:00

場所: Zoom を利用したオンライン開催

出席者: 江淵会長、原田副会長、大林、岡(顕)、岡(英)、久保川、齊藤、土井、中野、野口、長谷川、安中、渡部、事務局(毎日学術フォーラム: 米岡)

議題

1. 議事録確認(中野幹事)

2023 年度の第 2 回幹事会、臨時幹事会の議事録(案)が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(渡部幹事)

2023 年 6 月から 2023 年 7 月の入会者(47 名)と退会者(5 名)が承認された。2023 年 7 月末時点の会員数は、1,432 名。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について(渡部幹事)

後援・協賛等について 2 件の依頼があり、承認された。

(3) 募集・推薦等の依頼(渡部幹事)

公募・推薦 11 件、シンポジウム・講演等について 4 件、その他 8 件の依頼があり、学会ホームページにて公開、メーリングリストにて配信等の対応がなされたことが報告された。

(4) 2023 年度秋季評議委員会議事次第案について(渡部幹事)

2023 年度秋季評議委員会議事次第案について提案があり、承認された。

(5) 法人化のための決議案について(江淵会長)

法人化のための決議案が提案され、承認された。

(6) 「海の研究」の投稿規定の改定について(久保川編集委員長)

「海の研究」投稿規定の改訂案が提示され、一部修正の上、評議員会の議題に挙げるこ
ととなった。

(7) その他(江淵会長)

法人化に伴う相談の一環として、西南支部の取り扱いを審議し、西南支部メンバーに会
則の改訂案を作成していただき、それを法人化後の評議員会で議論する方向で進める
こととなった。

3. 報告事項

(1) 会長(江淵会長)

最近の会員の受賞状況についての報告があった。

(2) 学術動向(原田副会長)

学術動向報告について、JOS ニュースターに報告される予定であるとの報告があった。

(3) 吉田賞について(岡(顕)幹事)

受賞者への旅費の支給について、受賞者が希望する銀行口座への国際送金の手続きが難しく、今回は現金手渡しとするという報告がされた。

(4) 集会（中野幹事）

受賞式の準備状況について報告された。

(5) 研究発表（土井幹事）

秋季大会およびそれ以降の大会の準備状況について報告された。

(6) 編集

① JO（齊藤編集委員長）

JO(Vo.77(1) から Vol.79(5))の発行状況、投稿・受理状況およびインパクトファクターの推移について報告された。JOのMost cited paperの表彰の提案があった。

② 海の研究（久保川編集委員長）

海の研究 Vol.32 3,4 合併号を8月に出版したこと、現在の投稿状況が報告された。

③ JOS ニュースレター（岩本編集委員長）

JOS ニュースレター発行状況及び予定、及び国際標準逐次刊行番号を取得したことが報告された。

(7) 海洋環境委員会（野口幹事）

「青い海助成事業」について、随時募集の緊急提案型の公募を受付していることが報告された。

(8) 沿岸海洋研究会（大林幹事）

法人化に伴い会計作業を学会事務局へ委託する作業についての相談があった。海洋学会は年内に海洋学会の会計作業等に移す予定であるため、そのタイミングにそろえて行うとよいであろう等の回答があった。

(9) 教育問題研究会（川合幹事（文書報告））

女子中高生夏の学校(8/6)に参加したこと、サイエンスアゴラ(11/18-19)に申し込んだこと、及び秋季大会にてCOSIA イベントのセッション提案を行ったことが報告された。

(10) 海洋生物学研究会（渡部幹事）

英語での発表証明書の発行に伴い、研究会およびシンポジウムの英語名称を規定する会則の改定案を評議員会の議題として提案する予定であることが報告された。

(11) 男女共同参画（野口幹事）

男女共同参画学協会連絡会第21期第3回運営委員会（8/30）、及び女子中高生夏の学校(8/5-7)に参加したこと、また、第21回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム(10/14)に参加予定であり、Inclusion 海かふえ（第3回）を秋季大会中に開催する予定であることが報告された。

(12) 防災（土井幹事）

「ぼうさい国体2023」のポスターセッションにおいて、環境災害対応委員会と委員会に参加している学協会の活動が発表されるが、今回は特に防災に関する活動を行って

いないこともあり、海洋学会は掲載を希望しないとしたことが報告された。

(13) 若手支援(原田副会長)

若手研究者と幹事との話し合いを秋季大会3日目の昼休みに行う予定であることが報告された。

(14) その他

環境科学賞の名称変更について(安中幹事)

環境科学賞の名称変更の提案のこれまでの経過のまとめの報告があった。
評議員会で意見聴取することとした。

以上